



実理融合型MOTプログラムの演習教材開発

本学の「実理融合型 MOT プログラムの演習教材開発」が文部科学省の平成 16 年度法科大学院等専門職大学院形成支援プログラムに採択されました。法科大学院等専門職大学院形成支援プログラムは、国際的に通用する高度専門職業人の養成を推進するため、法科大学院をはじめ各種の専門職大学院において行われる教育内容、方法の開発、充実等に取り組む優れた教育プロジェクト（取組）を選定し、重点的な財政支援を行うというものです。

平成 16 年度「法科大学院等専門職大学院形成支援プログラム」
(教育高度化推進プログラム)

実理融合型 MOT プログラムの演習教材開発

「実理融合型の MOT プログラムの演習教材開発」は、教員が今、担当している授業科目とその教育内容から象徴的な教材課題を過不足なく抽出し、一連の教材課題を汎用型の演習教材として研究開発し、その成果を多様な各種媒体形態で制作し、Web 上での e ラーニング展開も含め、広く公開することにより、MOT 教育プログラムのデファクトスタンダード化を目指すものです。

「実理融合」とは、芝浦工業大学工学マネジメント研究科が命名した独自のキーワードで、実務と理論の融合を意味します。

工学マネジメント研究科は 2003 年 4 月の開学以来、質的水準の高い社会人学生からの刺激も受けて、MOT とは何か、そのための MOT 教育とは何か、その充実、高度化へ向けてのリソースの積み上げには何が必要か、議論を重ね、切磋琢磨の経験と知見を集積しつつあります。本プロジェクトには、この先行優位な成果を十分に反映させていきます。